

腰痛整形外科テスト記録シート v3

症状パターン → 安全確認 → 最小セット → 判断 → 再評価

患者名		評価日		評価者	
-----	--	-----	--	-----	--

主訴・症状部位

症状パターン（該当するものを記載）
下肢への放散痛・しびれ / 伸展・立位保持で増悪 / 殿部・鼠径部痛 / その他

1. 安全確認 | 負荷テストを続けてよいか

確認項目	所見・有無	経過・左右差	対応
安静時にも増悪する強い痛み・夜間痛			
発熱・全身倦怠・原因不明の体重減少			
急速/進行性の筋力低下・神経症状			
排尿排便の変化・会陰部/サドル領域の感覚変化			
冷感・蒼白・腫脹・発赤など運動器だけで説明しにくい所見			
安全判断	通常評価を続ける / 負荷を下げる / 共有・精査を優先		

赤旗は単独所見だけで機械的に判断せず、病歴・経過・随伴症状を含めて総合判断する。疑わしい場合は負荷テストを深追いしない。

2. 最小セット | 症状パターンに合わせて必要な項目だけ記録

評価	結果	再現部位・症状性状	条件・左右差	解釈メモ
SLR	角度： °			単独で病態を確定しない
神経学的所見	筋力 / 感覚 / 反射			
crossed SLR / Bragard / FNS（必要時）				
Kemp（必要時）			方向・負荷量	診断確定ではなく負荷反応として記録
SIJ 疼痛誘発テスト（複数）			同側・同部位の症状再現	陽性クラスターだけで確定しない
腰椎・股関節 ROM / FABER 等（必要時）				混同する仮説を整理

3. 本日のまとめ | 所見 → 介入で守る条件 → 再評価

主要所見
介入で守る条件・負荷量
次回の再評価（2～3項目）
1. 2. 3.
再評価メモ

同じ条件で比較できるよう、角度・部位・症状性状・負荷条件を残す。毎回フルセットを繰り返さず、仮説に直結する項目へ絞る。